

らくあん

楽庵ニュース 第15号

NPO 法人ユニバーサルデザインスクエア

地域活動センター楽庵

茅ヶ崎市浜竹3-4-6 4石黒ビル二階

0467-86-5898

楽庵は設立十二年に...

五月、三木元首相の記念館より寄贈を受け大きな陶芸窯を行谷の畑に設置しました。以前の三倍以上の容量です。

また日本郵便年賀寄付金の助成を受け、以前の軽自動車をトヨタノアに替え、大人数での移動が可能になりました。



最近のイベント

バーベキュー大会

十月二十七日、柳島キャンプ場にて肉を焼いてたらふく食べました。



外でバーベキュー 惇也さん

豚汁大会

十一月十七日、楽庵の畑で収穫した大根、長ネギ、里芋を使って豚汁を作って食べました。里芋が絶品。普段はパソコンと向き合う厚大さんが今日は大根と向き合っています。



中華街食べ放題と山手散策

十二月十五日、横浜大飯店にて美味しいものを食べてきました。全部美味しかったとは田代さんの言。エビが大きくて美味しかったとは山下さんの感想です。しかし食べている時間が長く少ししか散策の時間があまりとれずに残念でした。



クリスマス会

十二月二十二日、みんなでサンタの帽子をかぶってプレゼント交換をして楽しく過ごしました。

沖縄音楽ライブ

作品展の二日目、九日には三線歌手の小島亜矢さんとギタリストの蔵座栄治さんをお招きして新春沖縄音楽演奏会を行いました。プログラムは十二曲。歌ったり笑ったりの温かいひとときでした。「けっこう盛り上がった。」とはお母さまが宮古島出身の柴田さんの感想。「ものすごくよかったです」という話も聞きました。楽庵のメンバーさんや職員には沖縄関係の方が多くということがわかったのも新しい発見でした。



誕生会

一月二十五日、九月から一月生まれの方を対象としてお祝いをしました。お茶とお菓子を楽しみながら、今回は一人ひとりに突っ込んだ質問をして、周りの人がその質問の答えを予想して〇×で答えるゲームをしました。



福祉会館 開催中。三月二十九日まで。 十時半から九時

福岡琢也 陶展

三月十日から四月一日まで三島のギャラリー阿吽にて職員福岡先生の個展が開催されます。

今回の作品は粉引(こひき)と言って白化粧土をかけた器が多く出展されるらしいです。福岡先生の作品は食べ物がよりおいしく見える使い勝手のとてもよさそうな大皿などです。ギャラリー阿吽は三島大社のすぐそばです。

楽庵にて作品展

新年一月八日、九日、楽庵にて日頃作りためた作品の展示、販売を行いました。日頃

猛烈な距離を歩かれています小嶋さんや川嶋君の歩かれた距離を世界地図に当てはめた図の発表もしました。



金子さんの作品
おじさんシリーズ
うちの一点

講演会

スナックらあらのママ大関豊子さんの講演会を行いました。内容は素敵な人生を送っていらっしゃるお客様とご自身のお話でした。

作品展など

イオン中央店

好評に終了しました。



エイカ&ナンシー

小さいおじさんパラダイス展

三月二十一日から四月三日まで（二十八日は休み）職員金子映夏さんの作品展があります。金子さんの同級生のナンシーさんのガラスの作品との共演です。場所はパクチャー屋十バルで鎌倉駅西口を出て御成通りをまっすぐ二分です。金子さんのおじさんシリーズがずらりと勢ぞろいしたところが見られるチャンスです。まだ楽庵で見えない絵も楽しみです。



楽庵の今

毎月楽庵では第一月曜に職員会議を開催しています。毎月の予定や役割分担について話し合っています。時には「私らしさ」とは何かといった論文を読みながら日頃の生活課題を考えたりしています。

今、セルフアドボカシー（権利擁護）と自己認知が話題になっています。特に楽庵は中途障害の方が多く、思わぬ病気や障害によって自分とは何かかわかりにくくなっている場合があります。手足や身体の不自由さだけではなく自分にはどのような困難があるのか。それを代替えるのはどういう方法があるのかを知ることが大切です。

Rusk 研究所でも神経心理ピラミッドで諸機能の欠損を理解し戦略を学び訓練することで認知機能の働きを統合させ、最終的には自己同一性と自らの尊厳を復活させるとあります。

基本的には転ばぬ先の杖を

わたすことではなく、失敗や挫折をどのように考えていくのが大切だと考えています。周囲が先回りして何もかも決めてしまつては自分が何をやりたかったのかわからなくなつてしまいます。

職員はあくまでも本人が将来に何を実現したいのか、そこでどんな環境を整える取り組みに関わるのか、そこで生み出される自立とはどのような状態なのかを客観的に見守る必要があると考えています。

ひとりひとりかけがえのない人生に職員がどのように寄り添い助言し、ともに共感しながら生活できるかを考えています。

今年度の施設長は看護師でケアマネージャーの近藤倫子、田辺和男は陶芸や畑、散歩渡辺次男はパソコン、小橋裕子は調理やイベント、大林万里子は折り紙、金沢亜子は言語リハビリ、鈴木浩子は陶芸、マツサージ、金子映夏は陶芸、クラブト、岡本利子は英会話

福岡琢也は陶芸、関根好子は手芸、などそれぞれ専門を通して人生を共に語れる職員だと思えます。

楽庵ニュースが楽庵の生活を伝える記録になるようとして新しく発刊しました。感想や意見をお寄せください。

近藤裕美記



ネットワーキング会議

二月十六日神奈川工科大学の小川善道先生の体験的海外の福祉のお話を聞き、地域の方々との交流会をしました。

その他のニュース

茅ヶ崎ウエブ

海外に向けて茅ヶ崎の情報を発信しているサイトで楽庵が紹介されました。

Chigasakiwave. sakura.ne.jp
この楽庵ニュースの写真と編集を行っている茂木さんの風景写真も使われる予定です。アクセスしてみてください。

野菜フェスティバル

楽庵の畑で採れた野菜を使つてのイベントを考案中です。仮称野菜祭りです。

楽庵では野菜嫌いなのでは？と心配されている方が何人もいらつしやいます。簡単な調理に慣れると健康的にも経済的にもいいことがあるという利点はあなだれません。

今後簡単な調理実習をかねた食事会のようなものを開催していきたいと思えます。事前にメニューを発表しますのでお弁当を調整して持つてくるようお願いいたします。なお材料費は二百円です。宜しくお願い致します。

この人

金子映夏さん

「物を作ること」が好きです。大学では工芸（ガラス）を専攻しました。卒業後はガラス工房や注文家具製作所で働いたこともありま。大きい公園などのイベントで工作のワークショップをやったりして

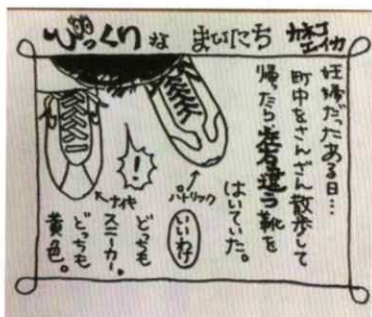
います。

過去に参加したアートワークショップで、老若男女障害あるなしに関係なく人々が楽しむ姿を見たのが今日やろうとしたり、やったりする事の原因になっていきます。

世界は沢山の面白い人や生物、物事にあふれている。

楽庵では利用者さんと一緒に日々「何気ないけど楽しい

こと」を発見できれば良いな、と思っています。



ケロヨンのおぼやき 1

私はケロヨンといえます。

けるっ子デメタンと呼ばれた時期もありましたが、子供の頃から目が大きかったので、そのような名前と呼ばれていました。

楽庵には毎週木曜に、近藤先生から発声練習やマッサージなどを受けています。

楽庵に入る前は、ある会社で報道カメラマンをしていました。記者会見やインタビュー、高校や大学、社会人などの有望な選手や、各界の顔写真などを撮影していました。また、国会の内外を駆け回っていました。

これからも、よろしくお願いたします。

今後の予定

四月の上旬、桜の咲き具合などを見ながら大庭城址公園にお花見ドライブに行く予定です。観梅ドライブが中止になってしまったのでその分も楽しめることを祈りましょう。

編集後記

楽庵新聞の記事は、主に職員である鈴木さんや金沢さん、そして写真家の茂木さんが文章を執筆しております。

今回、たまたま横に座っていた私が口出しをしていたら、正式に文章を執筆する事となりました。

楽庵においては、季節感を重視した多種多様なイベントがあるために、催した事一つ一つを文章にしていく事で「私も楽庵の活動を創り出している」という「参加意識」や「季節感」を実感する事が出来ます。

障害者作業所とはいえ、各々が自発的に活動へ参加する事で成り立つ活動（例えば、バーベキューや横浜異人館散策etc）が多くあります。

今後とも、今回の編集後記執筆を始め、自分の発想を基に、様々な楽庵の活動へ参加していく事で、楽庵が更に楽しく各々の為になる作業所であることに協力していきたいと思えます。